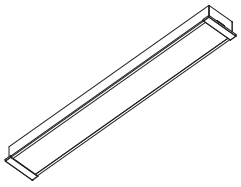
Panasonic®

取扱説明書

保管用

施工説明付き



住宅用照明器具（埋込型キッチンベースライト）

品番

LGB52054LE1（1灯相当 光色：昼白色）	LGB52063LE1（2灯相当 光色：昼白色）
LGB52055LE1（1灯相当 光色：温白色）	LGB52064LE1（2灯相当 光色：温白色）
LGB52056LE1（1灯相当 光色：電球色）	LGB52065LE1（2灯相当 光色：電球色）

お客様へ

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
ご使用前に「安全上のご注意」(1ページ)を必ずお読みください。
この取扱説明書は大切に保管してください。
施工には電気工事士の資格が必要です。必ず、販売店、工事店に依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を、次の図表示で説明しています。（下記は図記号の一例です。）

⃠	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。

⚠ 警告

❗ 必ず守る

●異常を感じた場合、速やかに電源を切る
異常状態が収まったことを確認し､販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。

分解禁止

●器具を改造したり、部品交換をしない
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

⚠ 注意

❗ 必ず守る

●照明器具には寿命があります。設置して10年経つと､外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています 点検・交換してください
点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。
◎1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。

●本体の取り外しは販売店、工事店に依頼する
本体の取り外しには資格が必要です。

●お手入れの際は､電源を切る
通電状態で行うと感電の原因となることがあります。

接触禁止

●点灯中や消灯直後はＬＥＤやその周辺にさわらない
やけどの原因となることがあります。
◎お手入れは電源を切り、ＬＥＤやその周辺が冷めてから行ってください。

禁止

●温度の高くなるものを器具の真下に置かない
火災の原因となることがあります。
◎器具の真下にストーブなどを置かないでください。

●ＬＥＤを直視しない
目の痛みの原因となることがあります。

工事店様へ ■施工の前によくお読みのうえ、正しく施工してください。
この説明書は必ずお客様にお渡しください。
■施工説明に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

施工説明

安全上のご注意 必ずお守りください

⚠ 警告

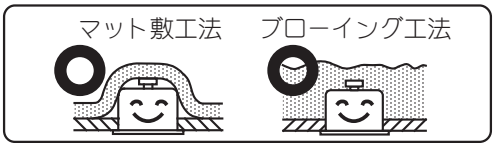
■取付面

禁止

●次のような場所には取り付けない
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。
・55度を超える傾斜した場所
・補強のない場所
・造営物､ダクトに接触する場所
◎天井埋込専用器具です。

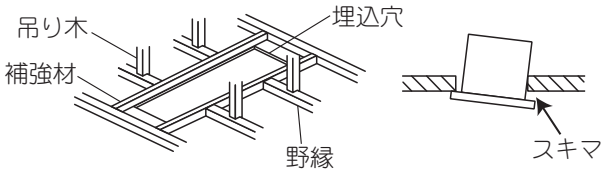
禁止

●特殊な断熱･遮音･防音施工された天井には使用しない
過熱して火災のおそれがあります。
この器具は日本照明工業会･埋込み形照明器具SB･SGI･SG形適合品です。



必ず守る

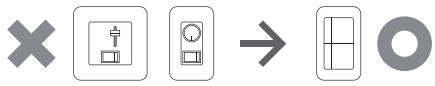
●埋込穴を補強する
特にロックウールや石こうボードの場合は、落下の原因となります。また石こうボード1枚への取り付けでも天井が垂れ、枠と天井の間に隙間が発生するおそれがあります。
必ず下図の様に補強してください。



■壁スイッチ

必ず守る

●調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切用スイッチに交換する
火災のおそれがあります。



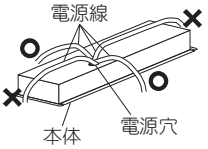
◎調光器の取り外しが必要です。
・スイッチを接地側に取り付けた場合、消灯後もランプが薄暗く点灯する場合がありますので、必ず非接地側(電圧側)に取り付けてください。接地側の無い電源では両切りスイッチをおすすめします。

●器具を複数台(８台まで)使用する場合は適合スイッチを使用する
火災のおそれがあります。
※適合スイッチ(別売：品番WT5001、WT5002、WT50519、WT50529)

■その他

禁止

●電源線は本体の長手方向にまわさない
火災のおそれがあります。



●電源線が本体に接触しないように施工する事。
感電のおそれがあります。

必ず守る

●器具の取り付けは､説明書に従い確実に行う
取り付けに不備があると、火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

●交流100ボルトで使用する
過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。

●電源線は端子台の差込み穴の奥まで確実に差込む
差込みが不完全な場合、
火災、感電のおそれがあります。

⚠ 注意

禁止

●温度の高くなるものの上に取り付けない
レンジ等温度の高くなるものの上に器具を取り付けないでください。
火災の原因となることがあります。

水ぬれ禁止

●浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しない
火災、感電の原因となることがあります。
◎この器具は防湿、防雨型ではありません。

必ず守る

●付属の梱包材は取り除いて使用する
そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。

●補強材を確実に取り付ける
取り付けが不完全な場合、落下によるけが、又は枠と天井の間にすき間が出来る原因となります。

●取付金具を確実に引き下げる
取り付けが不完全な場合、落下によるけが、又は枠と天井の間にすき間が出来る原因となります。

●パネル、エンドカバーを確実に取り付ける
取り付けが不完全な場合、
落下によるけがの原因となります。

●器具の取り付け取り外しは手袋などの保護具を使用する。
けがのおそれがあります。

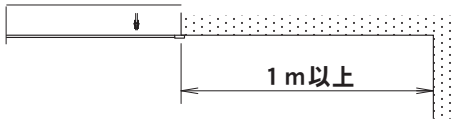
●周囲温度は、5～35℃で使用する
指定外の周囲温度で使用すると、ちらつきや短寿命の原因となります。

LGB52054－T3B2

施工前のご確認事項

●必ず、壁スイッチを設けてください。
点灯消灯させたり、お手入れの際に電源を切ることができます。
●壁スイッチ１個当たり８台までででご使用ください。
●ほたるスイッチと接続する場合は、1回路につき３個までででご使用ください。
（４個以上のほたるスイッチと接続すると、スイッチを切にしても器具が消灯しないことがあります。）
●照明器具の送り総容量（照明器具専用）は４Ａ以下です。ご使用されるスイッチなどにより総容量が制限される場合があります。スイッチなど、最大負荷および、接続可能台数をご確認いただき、その範囲内でご使用ください。

取付位置のご注意

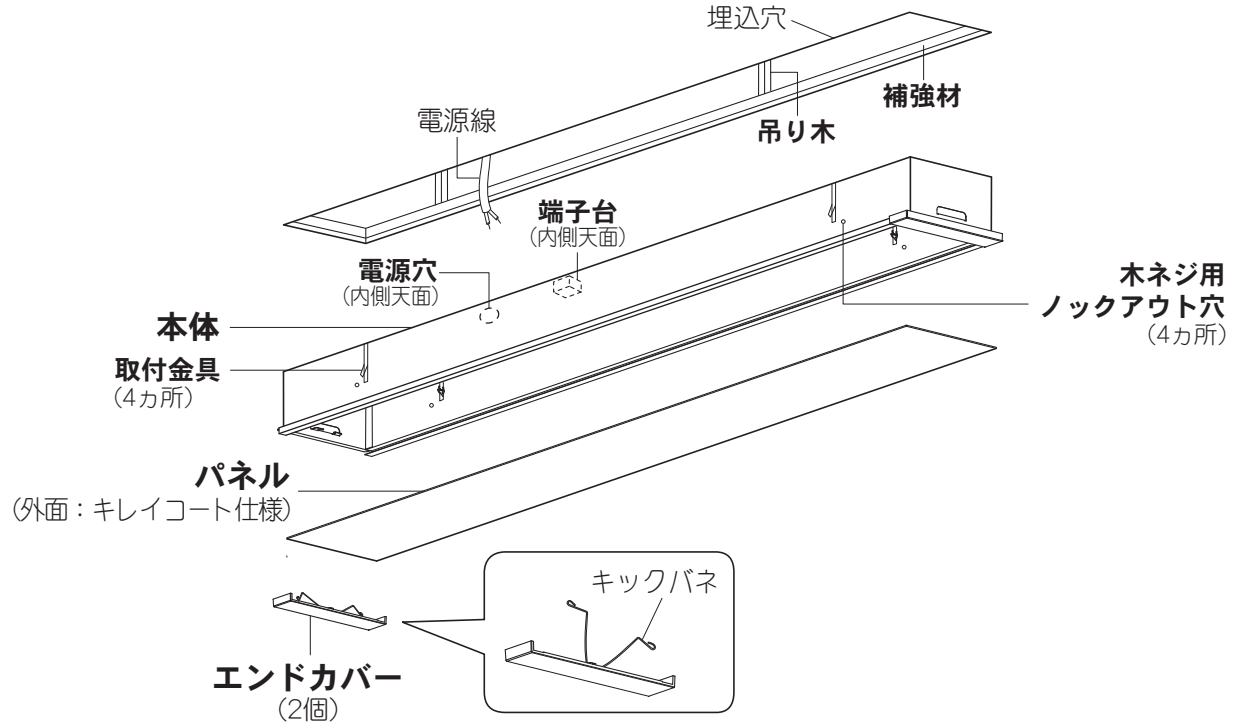


・器具長手方向の**左右どちらか**に壁面から**１ｍ以上**の距離が必要です。
指定距離より狭いと、パネルの着脱ができなくなります。
・火災報知器等１０㎝以下の障害物は器具長手方向より**２０㎝以上**の距離が必要です。
指定距離より狭いと、パネルの着脱ができなくなります。

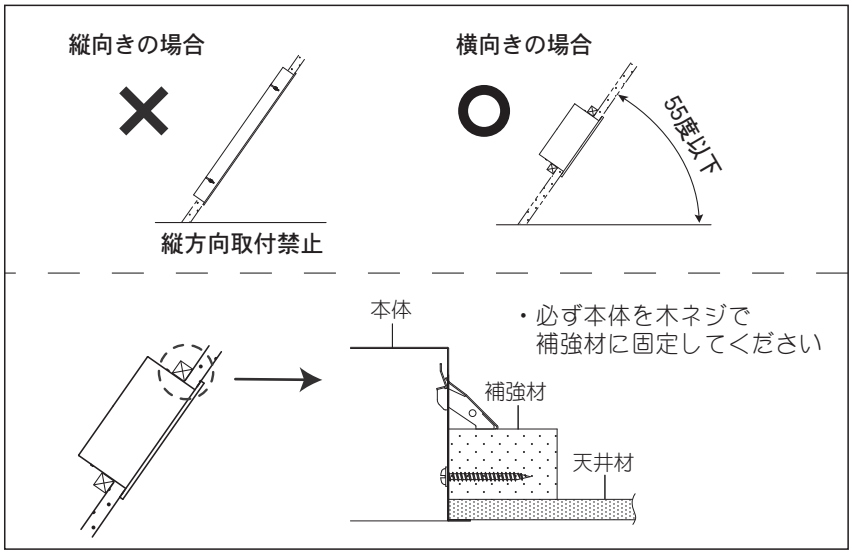
各部のなまえと付属部品

施工する前にまず付属部品をご確認ください

●下記イラストはLGB52054LE1で説明しています。
４ページ 取り付け前の準備 の 4 にしたがい、器具を下図の状態にしてから施工を行ってください。

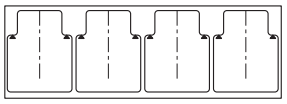


●傾斜天井に取り付ける場合



付属部品

□ ほこり防止シール(4枚)



⚠ 警告

55度を超える傾斜天井には取り付けないでください。
必ず守る 指定外取付は落下の原因となります。

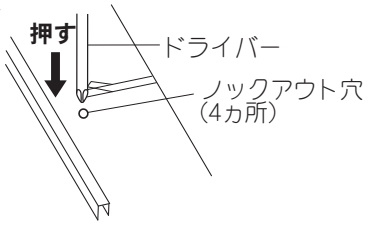
照明器具を取り付ける　安全のため、電源を切ってから行ってください

・器具の取り付けには、手袋などの保護具を使用してください。

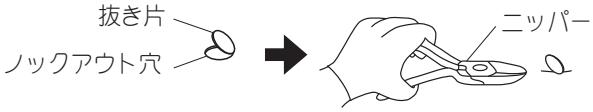
傾斜天井に取り付ける場合など､本体取り付けが不安定な場合は､本体側面の木ネジ用ノックアウト穴(4ヵ所)を開け木ネジ(別途ご用意ください)で固定してください。

木ネジ用ノックアウト穴の開け方

①ドライバー等を使用し穴を開ける。



②穴を開けたあとの抜き片をニッパー等で切る。



注意　抜き片や穴の端部で手などを切らない様に気をつけてください。

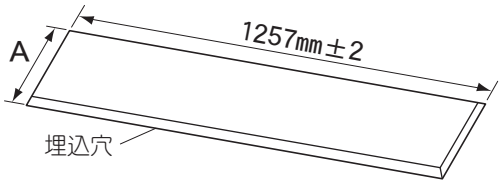
・スイッチを接地側に取り付けた場合、消灯後もランプが薄暗く点灯する場合がありますので、必ず非接地側(電圧側)に取り付けてください。(接地側の無い電源では両切りスイッチをおすすめします。)

取り付け前の準備

1 天井に埋込穴をあける

右表通りの寸法で埋込穴をあける。

品　番	埋込穴幅寸法(A)
LGB52054/LGB52055 LGB52056	150㎜±2
LGB52063/LGB52064 LGB52065	300㎜±2



2 天井材、天井強度(構造)を確認する

3 天井材、天井強度に応じて埋込穴を補強する

①埋込穴周囲に接して補強材を天井材に固定する。
②野縁の端部は補強材と接して野縁を木ネジで天井材に固定する。
③野縁を吊り木で固定する。

天井材の種類	補強材	取付厚み	野縁の補強
合板	※1	9㎜以上	野縁端部を木ネジで天井材に固定し、吊り木を追加する
石膏ボード	必ず補強材で補強する	天井材と補強材を合わせて40㎜以下	
ロックウール			
珪酸カルシウム板			

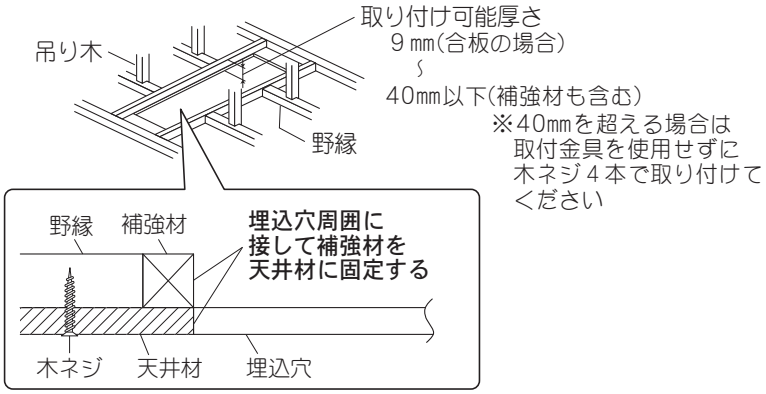
※1 天井開口部が垂れている。もしくは穴周囲に補強がなく強度が弱い場合、埋込穴に接して補強材で補強する。

⚠ 注意

必ず守る　**補強材を確実に取り付ける**
取り付けが不完全な場合、落下によるけが、又は枠と天井の間にすき間が出来る原因となります。

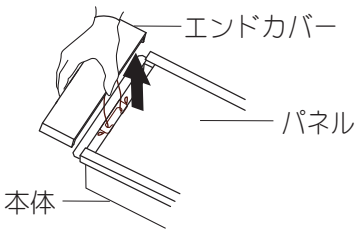
断熱施工する場合

埋込穴を補強し器具を取り付けてから断熱施工をしてください。

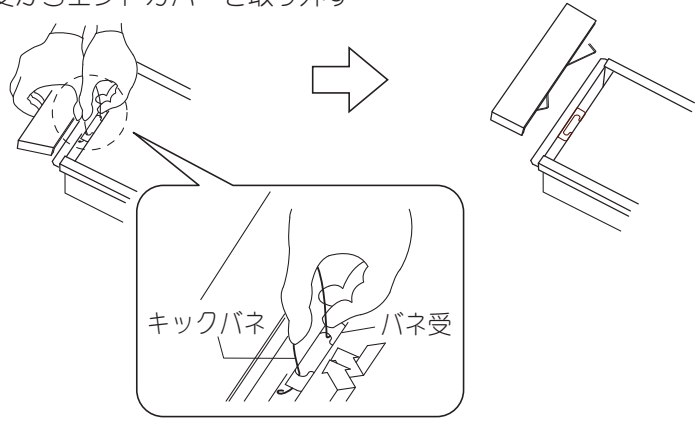


4 パネルを取り外す

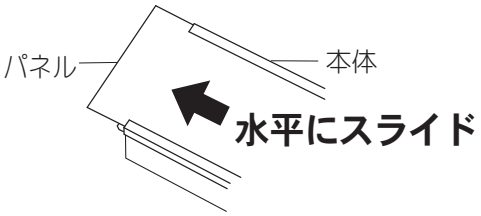
①片側のエンドカバーを引き上げる



②キックバネを押し縮めながらバネ受からエンドカバーを取り外す

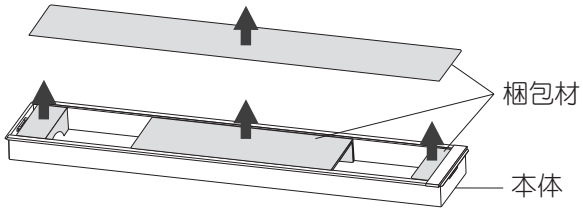


③パネルを水平にスライドさせて本体より取り外す



4 梱包材を取り除く

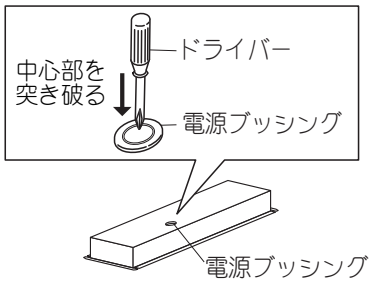
同梱されている梱包材を本体から取り除く



取り付け方

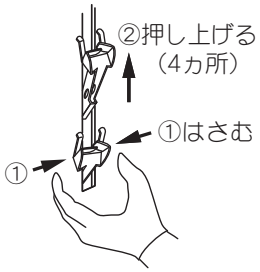
1 電源穴を開ける

本体天面の電源ブッシングをドライバー等で突き破る

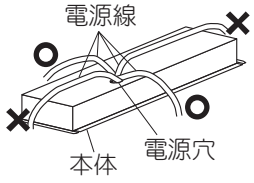


2 取付金具(4ヵ所)を押し上げる

取り付ける天井厚さに合わせて本体内面より取付金具を押し上げる。



3 本体に電源線を引き込む



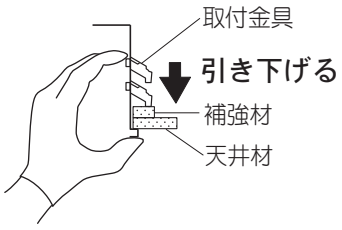
⚠ 警告

禁止 **電源線は本体の長手方向にまわさない**
火災のおそれがあります。

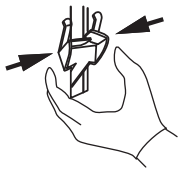
禁止 **電源線が本体に接触しないように施工する事。**
感電のおそれがあります。

4 本体を取り付ける

本体を天井の埋込穴に挿入し､取付金具を引き下げる。



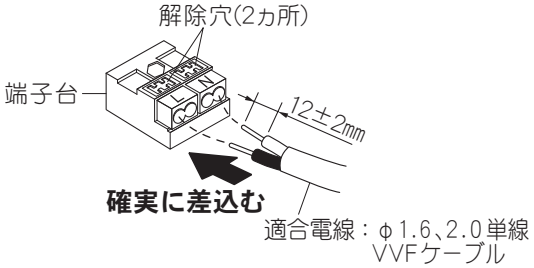
(注意)
つまんで引き下げない
(枠と天井の間にスキマができます)



⚠ 注意

必ず守る **取付金具を確実に引き下げる**
取り付けが不完全な場合、落下によるけが、又は枠と天井の間にすき間が出来る原因となります。

5 端子台に電源線を接続する



電源線の外し方
マイナスドライバー等を解除穴に差込みながら電源線を引き抜く

(注意)

●電源線接続後、余分な電源線は必ず電源穴へ押込むこと。

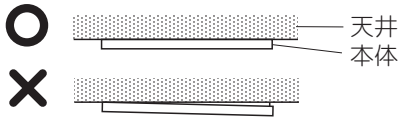
(次頁につづく)

照明器具を取り付ける　安全のため、電源を切ってから行ってください

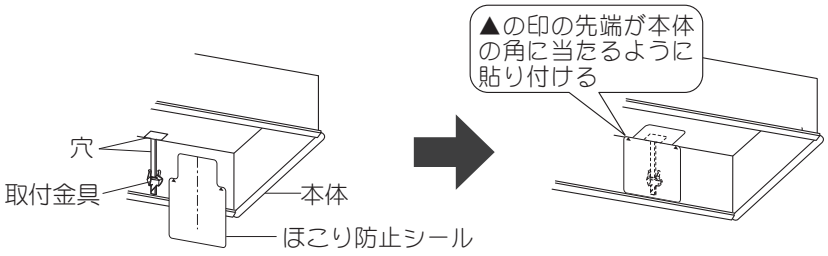
取り付け方

6 ほこり防止シールを貼り付ける

確認 **本体と天井の間に隙間がない事を確認してから、ほこり防止シールを貼り付ける。**
本体と天井の間に隙間がある場合は、5ページの 4 にしたがい、取付金具を確実に引き下げてください。



●取付金具の穴を覆うように
付属のほこり防止シールを貼り付ける。

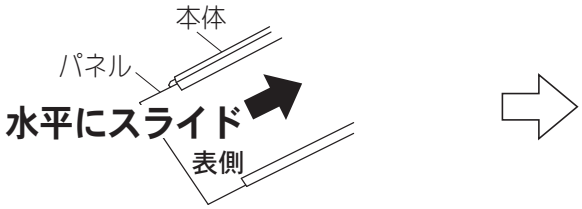


注意
●傾斜天井に木ネジ4点で取付ける場合も同様にほこり防止シールを貼り付ける。

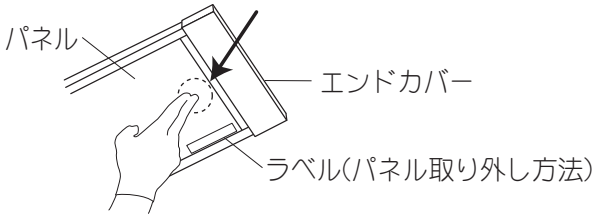
確認
シールで穴が確実にふさがっていること

7 本体にパネルを取り付ける

① パネルを本体の溝に差し込み水平にスライドさせて器具の奥(エンド)まで差し込む

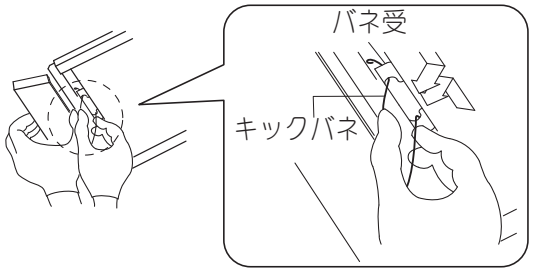


●パネルの端が奥側のエンドカバー上に乗るように
パネルの中央（図示部）を軽く持上げ、エンドカバーの奥まで差し込む



確認
●パネルには表裏があります。
必ず【パネル取り外し方法】のラベルを貼り付けている方を表側にして、取り付けてください。

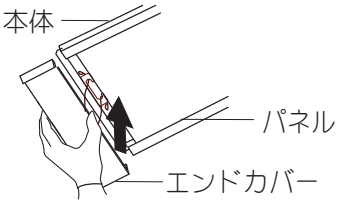
② キックバネを押し縮めながらバネ受に引っ掛ける



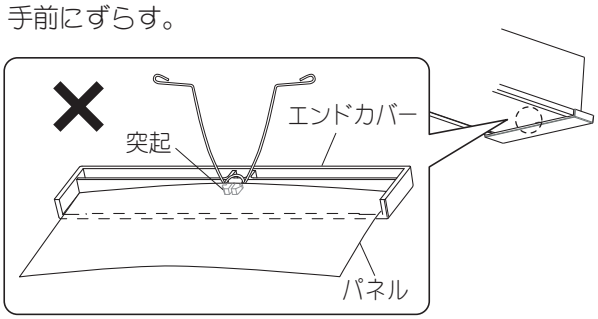
⚠ 注意

パネル・エンドカバーを確実に取り付ける
取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。
必ず守る

③ エンドカバーを本体に確実に取り付ける



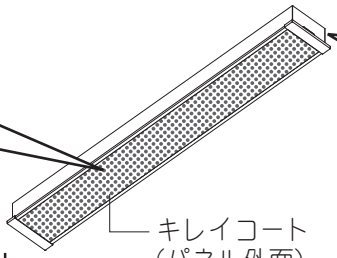
確認
●パネルがエンドカバーの突起に乗り上げないこと。
パネルがエンドカバーの突起に乗り上げて、隙間があいている場合は、パネルの中央を軽く持上げ少し手前にずらす。



お手入れについて

電源を切って、光源やその周辺が冷めてから行ってください

●明るく安全に使用していただくため、定期的（6カ月に1回程度）に清掃してください。



キレイコート部のお手入れ

●汚れは、やわらかい布を水に浸してよく絞ってから軽くふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。

他の部位のお手入れ

●汚れは、やわらかい布を右けん水に浸してよく絞ってからふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。

キレイコート（パネル外面）

【キレイコートとは】

水や油をはじく効果のあるコーティングで従来素材よりホコリや油汚れが付きにくく付着した場合でも、容易にふき取れます。(注1)

(注1)すべての汚れに対応できるものではありません。染料やタバコのヤニなどには効果がありません。

確認

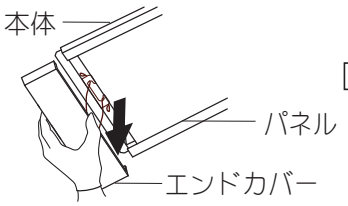
●シンナー、ベンジン、アルカリ性洗剤などの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。
変色、破損の原因となります。

●キレイコート部(パネル外面)は、強くこすらないでください。また、水拭きの際は洗剤などを使用しないでください。
コーティングはがれの原因となります。

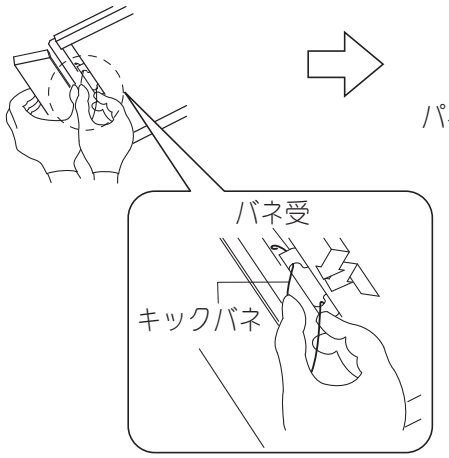
パネルを取り外す場合

電源を切って、光源やその周辺が冷めてから行ってください

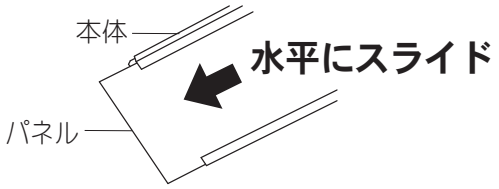
①片側のエンドカバーを引下げる



②キックバネを押し縮めながらバネ受からエンドカバーを取り外す



③パネルを水平にスライドさせて取り外す



注意

●無理に引き下げて取り外さない

ご使用上に関するお知らせ

故障や異常ではありません

【器具自体の留意点】

●点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮によるきしみ音が照明器具から発生することがあります。
●LEDにはバラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
●LEDが点灯しない場合は、電源を切り、販売店、工事店、別紙お客様ご相談窓口にご相談ください。
●LED光源は、通常のランプのようにお客様自身でお取り替えは出来ません。
●キレイコートは経年劣化により、効果が多少減少します。（使用環境により程度は異なります。）
☞お手入れについては、上記「お手入れについて」参照
●施工時や清掃時にパネルを曲げてしまうことにより、本体とパネルの間に一時的にスキマが発生することがありますが、一日程度で復元します。
●光源部は取り外すことができません。

【 周囲の影響 】

●器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音が入ることがあります。
●器具のきわめて近くでは、リモコン機器(エアコンなど)のリモコンが動作しにくくなることがあります。

仕様

☑器具のラベルをご参照していただき、品番にチェックをしてください。(保証とアフターサービスで品番が必要となります)

品番	使用電圧	周波数	消費電力	入力電流
□ LGB52054LE1 □ LGB52055LE1 □ LGB52056LE1	AC100V	50/60Hz共用	25.7 W	0.26 A
□ LGB52063LE1 □ LGB52064LE1 □ LGB52065LE1			51.6 W	0.52 A

●LED照明器具の光源寿命は、40,000時間です。(照明器具の寿命とは異なります。)
光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

保証とアフターサービス よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは…
■まず、お買い上げの販売店へご相談ください
▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名
電　話　(　　)　ー
お買い上げ日　　年　月　日

●保証期間中は、保証の規定に従って、出張修理いたします。
●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。
＊修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断･修理･調整点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

●アフターサービスについてのご不明な点や修理に関するご相談は、お買い上げの販売店または別紙お客様ご相談窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは…
まず電源を切って､お買い上げ日と以下の内容をご連絡ください。

●製　品　名	住宅用照明器具
●品　　番	上記「仕様」をご参照ください。
●故障の状況	できるだけ具体的に

保証期間：お買い上げ日から本体１年間

ただし､LED電源については３年間です。
保証書が必要な場合は､当社代理店または当社営業所へお申し出ください。
※保証の例外　２４時間連続使用など､１日２０時間以上の長時間の使用の場合､保証期間は半分となります。

補修用性能部品の保有期間 6年
＊当社はこの照明器具の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を､製造打ち切り後６年間保有しています。

パナソニック株式会社　ライティング事業部
〒571−8686 大阪府門真市門真1048
© Panasonic Corporation 2018-2020
LGB52054−T3A3　　N0118−031120